



事務局報

第149号

令和2年1月

1. 支部長年頭のご挨拶



所有者不明土地の利活用が始まる年に

新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、(一社)日本補償コンサルタント協会沖縄支部会員各位のご支援・ご協力を頂賜り厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして支部運営も順調に推移しており感謝申し上げます。

今から 15 年前、ケニア出身のノーベル平和賞受賞のワングリ・マータイ氏が来日した際、日本語の「もったいない」という言葉を知って感銘を受け、世界共通語として「MOTAINAI」という言葉で環境保護のキャンペーンを展開して話題となりました。

さて、土地は、本来、売買、貸借等様々な用途に使用できるものですが、それができない土地が存在します。その主な原因は相続登記がされないことです。具体的には相続が発生しているのに相続登記がなされないまま世代が2代、3代と遷り権利者が数十人規模に広がることも珍しくありません。相続人の居所も広範囲に広がることに加え年齢層も広がって相続人相互間の交流も疎遠になりがちです。このような相続人の探索、追跡調査を行ってもなお所有者を確知できない土地が増えていきました所謂、「所有者不明土地」と呼ばれている土地です。「もったいないの極み」ではないでしょうか。公共事業においては、そのような土地は任意で取得ができないために土地収用法に基づく取得となりそのため多大な時間と労力を要することになり社会問題とな

っています。その改善策として2018年6月13日に「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」が公布されて2019年6月1日に全面施行されました。同法の骨子は所有者不明土地について一定の手続きを経て土地を円滑に利用する制度です。内容は①公共事業における収用手続きの合理化・円滑化②地域福利増進事業の創設です。「地域福利増進事業」とは日常生活に身近な施設、ポケットパーク・購買施設・公民館等の敷地として利用することです。そして所有者不明土地法の流れに歩調を合わせて2019年2月18日に沖縄総合事務局、沖縄県、そして県

内41市町村に加えて民間6団体からなる協議会「沖縄所有者不明土地連携協議会」が設立されました。



民間団体の一員として(一社)日本補償コンサルタント協会沖縄支部も参画しています。当協議会の役割は、市町村が所有者不明土地法による土地利用を行う場合に技術支援を行っていくものです。本年が「所有者不明土地」の利活用に動き出す年になると期待を抱いています。

支部会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます新年の挨拶と致します。

2. 沖縄総合事務局開発建設部用地課との意見交換会を実施

12月9日、支部会議室で沖総局用地課と支部役員で意見交換会を行いました。出席者、議題は下記のとおりです。

[沖総局出席者]

根路銘用地課長、大城用地計画官、知名用地対策官、前城用地官、仲村課長補佐、仲本企画係長

[沖縄支部出席者]

桃原支部長、小濱副支部長、川満企画・広報委員長、
田中補償業務委員長、玉那覇研修委員長、仲本幹事、
比嘉幹事

[支部議題]

- 令和2年年度事業箇所について
- 所有者不明土地連携協議会における起業者支援について

[沖総局議題]

- 用地関係業務に係る所要作業時間調査について
 - 災害協定の確認
 - 成果品の品質確保等について
- ※沖総局から指摘・改善の要請があった最も重要な事項は成果品の修補に即応しない会員がいること、修補が終わらないと補償金の算定が出来ず、関係権利者との用地交渉が出来ない為、事業の遅延に繋がる事を認識する必要があります。成果品を通してあなたの会社は評価されることを肝に銘じて欲しいものです。



attention

- ※成果品は会社の顔である！**
- ※多重チェックを忘れずに！**

3. 親睦ゴルフコンペ開催

12月13日 パームヒルズゴルフクラブで12名参加。
令和元年支部親睦ゴルフコンペを開催しました。

朝7時30分と早い時間のスタートでしたが、遅刻者も無くスムーズに進行できました。スタート時点ではかなり冷え込んでいましたが、太陽が昇るにつれ日差しが強く程よく顔が焼けました。成績は下記の通りです。

- 優勝 川平恵正 (株) 総合設計玉城
2位 仲程通五郎 那覇不動産鑑定 (株)
3位 仲泊兼良 琉球建設コンサルタント (株)
ベストグロス 川平恵正 86
ドラコン 新垣宏昌 (株) 与那嶺測量設計

R1.12.13 パームヒルズゴルフクラブ



4. 支部忘年会開催

12月13日、パシフィックホテルで令和元年忘年会を開催しました。会員35社の出席のもと、支部長挨拶、仲程通五郎氏の乾杯の音頭で開式しました。

会食しながら、平成31年・令和元年の出来事、会員受注状況等、会員間の情報交換を行いながら来たる(2020年、令和2年)子年への期待、希望等を語り合っていました。最後に今年の運試しとしてビンゴゲームを行い更に会は盛り上がりました。

